

# 枚方中国語を学ぶ会だより

2018年4月号  
枚方中国語を学ぶ会

## 盛大に中国料理を作る会

### 一起做菜，吃饭，喝酒，聊天儿

2月18日（日）、枚方市民会館で、我が会の最大イベントである「中国料理を作る会」が行われ、会員、老師、枚方・大阪日中友好協会会員など、合わせて53人の参加がありました。

午前中は、料理教室を使って各班の料理づくり。自班の料理に集



【各班の料理】

- ◆ 入門班：東北水餃子
- ◆ 初級班：炒年糕
- ◆ 中級班：糖醋鸡肉莲藕、西红柿炒鸡蛋
- ◆ 上級Ⅰ班：蚝油牛肉
- ◆ 上級Ⅱ班：酸辣汤、棒棒鸡

中する人、他班の料理をのぞく人、もっぱらおしゃべりに徹する人等、みなさん、大いに料理づくりを楽しまれました。（写真上・中）

午後からは、会場を集会室に移し、各班が腕によりをかけて見事に出来上がった料理（写真下）を食べながらの懇親会となりました。

懇親会の冒頭は、我が会本部顧問の井野さんの音頭による乾杯。その後、各班の料理を食べながら、話しが弾み、班を越えた交流も深まりました。また、大阪府日中友好協会副会長の戸毛先生の貴重なお話を聴いたり、歌、クイズ、ゲームなど各班が知恵を絞った出し物を楽しんだり、充実した一日となりました。

日々の学習にとどまらない、こうしたイベントを今後も大切にしていきたいと思います。

### 各班采访记②初級班



### みんなで楽しく緊張

4月25日、初級班の授業の様子が取材してもらいました。

教室に着いた時は、まだ授業が始まっておらず、メンバーに授業の様子を訊いてみると、「楽しいです」「緊張します」との反応が。

授業が始まると、すぐにその意味が分かりました。まず倪老師が参加者（当日は16人）一人ひとりに「今日は周几?」「去年是几年?」等と質問され、皆さん緊張した面持ちで答えられていました。それだけではなく、授業のほとんどの場面が、老師からの質問とそれへの答えで進んでいくので、とても緊張感のある授業だと思いました。

と同時に、老師が合っている答えには、必ず「很好」「非常好」と応じられるので、楽しく授業に参加できるのだと思いました。

### 西川会長の中国語余話⑨

今回は、簡単な文法を考えます。

名詞が述語になる文＝名詞述語文についてです。名詞述語文とは「这是书」だと思っている人が多いと思います。「这是书」は、

「是」が動詞ですから動詞述語文です。動詞述語文・形容詞述語文は覚えているでしょうが、はて名詞述語文とはどんな文でしょうか？

その名が示す通り、名詞が述語になる文＝「我今年五十岁」「今天8号」で、これらの文のどこに

も動詞・形容詞はありません。

このように中国語では数詞が動詞性を持っていることがわかります。さらに、その人の本籍地を言う場合も、「我大阪人」「他上海人」と言えます。でも「他中国人」は、本籍地ではないので、必ず「他是中国人」と言わなければなりません。

でも名詞述語文の否定形は「他不上海人」とは言えなくて、必ず「他不是上海人」と言わなければなりません。理由は、「不」は副詞で、後ろの動詞や形容詞を修飾するのであって、名詞は修飾できないからです。